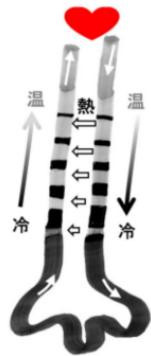


発行 北川かっぱの会
<http://kitagawakappanokai.la.coocan.jp/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

かっぱの楽校 生き物講座 第107回

「生きもの講座」は100回連載を記念し、表紙ページでお届けしています。



水鳥の足の血液の流れ

サギやカモ 寒くてもへっちらら

コロナ太りを少しでも解消しようと着ぶくれして川沿いを歩くと、冬枯れの寒々しい中、元気に泳ぐカモやコサギがいました。なんとコサギは、足踏みするように小股でじわじわと歩き、石の間から逃げ出す魚を捉えているようでした（'足ゆすり漁法'というらしい…まるでガサガサ！！）。

この時期、川の水は手を浸けるのがはばかれるほど冷たいはずですが、鳥たちは寒くないのでしょうか？鳥も恒温動物ですが、なんと体温は 40 °C 前後と人より高いそうです。これは元祖'羽毛服'一断熱材をまとっていることで可能となっています。でも、体はぽかぽかだとしても、むきだしの足が冷たい水に浸かりっぱなしなのに、なんで足から冷え冷えになってしまわないのでしょうか？？

その秘密は、足の付け根あたりにある毛細血管の網状の仕組みにあります。この仕組みを通して、冷たい足の先の方から体に戻る冷えた血液は、体から足へ向かう動脈の温かい血液によって温められてから体に戻り、一方、足へ向かう温かかった動脈血は、熱を奪われて

冷たい血液となって足の方に運ばれていくので、足だけ冷たい血液を流すことができます。動脈と静脈の間での熱交換により→イメージとしては足と体の温度を分けることで、体温を効率よく一定に保っているのです。因みに水鳥の足の温度はこの仕組みにより、真冬でも5°C前後だそう‘しもやけ’にはならないようです。私は暖かい布団に入っても足先が冷たいままではとても眠れませんが…。〈康〉

予告 3/13 総会を開催します

3月13日(土)13時より、中央公民館（東村山駅東口徒歩2分）の第2集会室で総会を開催します（緊急事態宣言の解除の有無にかかわらず、感染防止対策を講じた上で中央公民館に於いて開催予定）。総会では2020年の活動総括と決算、2021年度の活動方針と予算などについて討議します。なお、議案書案は2月21日付のかっぱブログに掲載されていますのでご覧ください。「トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活」を一層推進していくためにも、会員の皆様の参加をお待ちしております。

2021年の活動方針では、特に以下の事項を中心に検討していく予定です。
①新型コロナウイルスによる感染防止対策…イベント開催の基本方針やwebの活用策を中心に意見交換を行っていきます。

②支援者の拡大策…様々な人（特に子育て層）が参加や役割を担っていくことができるようなイベントとしていくためにはどうすればよいかなど、支援者の拡大策を中心に意見交換を行っていきます。

③北山公園が里山や里川としての公園として保全されてきた歴史があること、今後も里山や里川として保全していくべきこと、また水辺の生物を捕獲することができる貴重な場所であることをアピールしていくためにはどうすればよいのか、北山公園のあり方を中心に意見交換を行っていきます。

④子ども向けイベントの実施方法の改善…北山いきものクラブや土曜講座などの子ども向けイベントの実施方法を中心に意見交換を行っていきます。

⑤外来生物の防除作業の改善…防除作業の期間や改善、また新たにアライグマの防除対策について意見交換を行っていきます。

⑥地域への情報発信力を強化…生物多様性東村山戦略の実現に向けて意見交換を行うとともに、かっぱの楽校の記事をベースとした新たなweb上の企画を検討します。



■報告 たっちゃん池※かいぼり結果は？（※＝宅部池）

昨年 12 月 12 日に行われた 3 回目かいぼり実施状況速報が東京都建設局から写真入りで公開されています（「宅部池 かいぼり 速報」で検索）。これとは別に、現地宅部池脇にはもう少し詳しい結果が掲示されています。こちらも速報値ということで未確定なものですですが、直接見に行けない方のため引用させてもらい表にしました。

確認されたのは計 16 種類で個体数とともに少ない印象。種類内訳は国内他地域からのものを含む外来種が 5 種類、在来種が 10 種類、判別不明 1 種類（シジミの仲間）でした。魚類に限れば出現 3 種のうち在来種はクロダハゼ（トウヨシノボリ）1 種のみです。●特筆すべきは 2 枚貝のヌマガイとイシガイが確認されていることです。以前にも確認はされていますが、掲示資料によれば何れの種も東京都内ではとても希少で、特にイシガイはここでしか見つかっていないとのこと。近年減ってはいるものの全国的に広く分布するようですが…。東京都内では、現在の宅部池のような環境の池自体が希少となってしまっているのかもしれませんね。

●外来種駆除の主対象であったオオクチバスやコイは再確認されずひと安心。しかし、海外由来と考えられるドジョウが見つかってしまいました。

同じく外来種のカワリヌマエビの仲間は、今では下流の北川ではごくふつうにみられます。エビやカニ、巻貝は水路の急斜面も乗り越えて移動できますが、このドジョウはどこから来たのでしょうか？？

子供の頃、宅部池は釣りができる（黙認？）、ヘラブナ釣りの大人から離れた私達に釣れるのは主にモツゴとタモロコでした。今までいうクロダハゼも沢山いました。モツゴもタモロコも宅部池にとてもふさわしい魚だと思いますが、この先下流から自力で宅部池に戻ることはまず無理でしょう。

'たっちゃん池'の将来像を思い描き、これを見据えた方策のひとつとして、下流に生息する在来種の移植放流等についても論議していく場が欲しいですね。〈康〉

2020年12月12日 かいぼり結果（速報値）

	種名	個体数
貝	チリメンカワニナ	13
	シジミの仲間	2
	ヌマガイ	56
	イシガイ	121
エビ・カニ	カワリヌマエビの仲間	2
	テナガエビ	102
	スジエビ	14
	アメリカザリガニ	41
	モクズガニ	2
昆虫	オオヤマトンボ	17
	コシアキトンボ	7
	ハイイロゲンゴロウ	5
魚	ゲンゴロウブナ	1
	ドジョウ（中国系統）	5
	クロダハゼ	1222
カエル	ウシガエル	67
合計	16種類	1677

注)狭山公園内に掲示されている速報データから作表
: 外来種

北川かっぱの会の原点(第5回) 多自然型川づくりを目指していた頃

北川では 1960 年頃まで、子供たちがいたるところで水遊びをし魚捕りをしていましたが、流域の住宅地開発等に伴うコンクリート護岸化やドブ川化により、川は市民から隔絶されたものになっていました。1995 年に創設された北川かっぱの会では、北川クリーンアップや夏まつりの開催などを通じて、子供たちが容易にアクセスすることができる川を取り戻したいと考え、多自然型川づくり（川が本来有している生物の生育環境に留意し……自然景観を保全、創出する川づくり）を目指すことになりました。

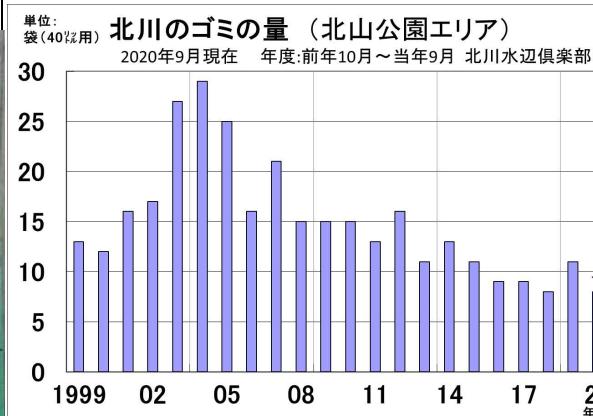
北川かっぱの会では多自然型川づくりを目指し、1997 年から会員による本格的な調査（河道の状況、水質、植物や動物、周辺の自然、歴史、人々の関わり等）を実施し、北川の魅力や問題点、望ましい姿について話し合い、1998 年に「未来の川へ・北川復元プラン（以下「未来の川へ」）」という冊子をまとめました。その内容は、「北川の営みを蘇らせ、魚や鳥、昆虫等の在来の多様な生き物を育む豊かで清らかな流れを取り戻し、“かっぱ”の潜んでいた原風景を復元する。そして、子供達が川遊びから多くのことを学び、……」というものでした。当時、川の一部に疑似自然を作るだけ、生物や生態系への配慮がなされないなど「多自然型」の意味を十分に理解していない実施例が多く見られましたが、北川では多自然型の意味を十分に議論した上で検討したものでした。そして、「未来の川へ」では、北川のコンクリート護岸を剥がして自然護岸にしてい



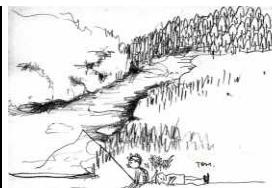
くこと、北川の落差工（堰）を撤去して魚道を設置していくことなどが提案され、市民提案という形で東村山市に提出されました。

その後、市で真摯な検討を行った結果、2004 年に北山公園内的一部のコンクリート護岸を剥がして自然護岸が完成、2005 年に善行橋下の落差工を解消して魚道と善行橋下流側の自然護岸化の工事の完成に至りました。北川かっぱの会では、基本設計や実施設計、施工にあたっては、一般市民に開かれた場で話し合っていくことが重要と考え、「川端会議（北山公園整備計画等意見交換会）」の創設を提案したところ、2000 年から川端会議が開催されました。

「未来の川へ」の提言は、市民の地域の自然を守っていくための熱い想いを集め、アピールし、その提言内容の多くについて実現されていくことになりました。また、市と市民活動団体、市民とが対等な立場で意見交換を行う「川端会議」は、市民協働路線を推進していく上で大きな力となりました。「未来の川へ」の提言と「川端会議」の設置は、歴史的に見て大きな意義があったと考えられます。（ベジタ清水）



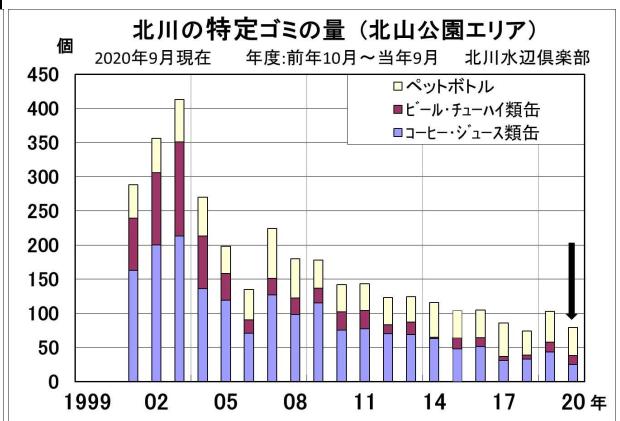
報告 昨年の定例川そうじの結果



北川かっぱの会では、毎月第 2 土曜日の午前中に「定例川そうじ」を実施しています（北山小前～西武園線鉄橋下）。川そ うじで収集したゴミについて仕分けを行い、そのゴミの量の計測を行なっていますが、このほど2020 年度の調査結果（毎年 10 月～9 月）がまとまりました（データは松村さん提供）。

ゴミの総量は平成 16 年度をピークに減少しているものの、ここ何年かは大幅に減少するような傾向にはありません。また、ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数は、最も多かった平成 15 年度と比較し減少していますが、こちらもここ何年かは大幅に減少するような傾向にはありません。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願ひいたします。



自然が大好き 第八回 一田舎少年一。

外来種バスターズでは、ウシガエルやアメリカザリガニの捕獲、アメリカセンダングサの駆除をした。僕を誘った妻も一緒に参加してくれた。久しぶりの野外での活動。泥だらけになって汗をかくことは楽しかった。でも、楽しかったという言葉は、正しくないのかもしれないと思った。生き物たちに罪はなく、人間たちの都合で持ち込まれて、繁殖し、増えてしまったと、座学で改めて理解したからだ。

運よく僕と同じ班にかっぱの会の原さんがいて、会の活動について知ることができた。東村山市をもっと知りたい、環境保全活動に取り組みたいと思い、少し緊張しながら北出さんに声をかけた。清水さんとも出会い、入会することができた！若い人は少なめだった(笑)が皆さん温かく迎えてくれた。

かっぱの会デビューはわんぱく夏祭りだったと思う。事前準備でかご罠を回収し、ウシガエルやアメリカザリガニを捕獲し展示した。外来種とともにフナやヨシノボリ、ドジョウ、カマツカなどの在来種も展示して、子供たちでぎわった。僕も童心に帰り一緒にはしゃいだ。特に、図鑑でしか見たことなかったドジョウやカマツカに出会

ったときはテンションが上がった。ゲームやスマホが当たり前の時代となり、子供の理科離れが心配されているが、やっぱり、小さいころは自然の中で生き物たちと触れ合って、五感で感じることはとても大事だと思う。

わんぱく夏祭りには、次の年も参加し、そのほかにも外来生物の供養、川の清掃や水質調査にも協力した。番外編の活動では、ザリガニ試食会(写真)が最高に楽しかった！美味だった！残念なことに、その試食会が最後の活動になってしまった…子育てが落ち着いたら、子供とともにまた参加したいと思っている。



いま、大人たちが行っている「環境保全活動」は子供たちから見たら難しいと感じるかもしれない。でも、その入り口して生き物と触れ合いたい、自然の中で活動したい、というキッカケが大事だと思う。僕も自然が大好きだし、子供にも自然が大好きになってほしい。今ある自然を守っていきたい。これからも、自然が大好き！

■ 報告 北山小4年生総合的な学習・野鳥観察

2月13日、北山小4年生の授業：総合学習において野鳥観察が行われ、かっぱの会から2名が講師として支援しました。1～2時間目と3～4時間目のそれぞれで1クラスずつ、北山公園と八国山で観察をしました。生徒たちはしっかり予習をしていて、こちらが思っていた以上に既に鳥た

ちのことを知っていました。鳥が現われるとみんなでフィールドスコープで見てもらい、名前だけでなく生態なども解説しました。フィールドスコープで見るアップの鮮明な姿は、大きなインパクトを与えたのではないかと思います。これをきっかけに身近な生き物に興味を持ち、大切にしたいという気持ちにつながっていけば嬉しいことです。

子供たちの感想文を紹介します。



●野鳥観察会でいろいろな鳥の鳴き声や、いろいろな鳥が見れてよかったです。特にツグミの模様がきれいでました。コガモやカシラダカは初めて見れたので良かったです。これからもいろいろな鳥がいるのでたくさん覚えたいです。

●僕は野鳥観察をやり思ったことはこんな短時間でたくさんの種類をみつけることができてすごいなということです。理由は大都会ではなく鳥が見られないからです。もっとたくさん鳥を見たいなと思いました。

●ぼくは今日鳥を見た中で一番いいと思った鳥はジョウビタキです。なぜならいろんな色があって面白いからです。もう一つはマガモです。理由は緑がきれいだからです。僕は緑色が好きなのでマガモが一番好きでした。僕はとりはいろんな種類があるんだと思いました。

●今日の野鳥観察で思ったことはジョウビタキがとてもきれいでかわいいかったです。スコープで見るとさらによく見えて首が動いたりしてかわいいかったです。マガモもロシアまで行くことに驚きました。また、スコープで鳥を観察したいです。

●私はシジュウカラとモズが印象的でした。シジュウカラは見れるといいなと思っていました。見れてよかったです。モズはかわいいのにタカのようなくちばしをしていて、他の鳥を襲ってたべてしまうというところが私は好きです。見た目によらずそんなことをするのにびっくりしました。



2021年3月～4月 活動スケジュール

木 は ホ"ランティア募集 の略、会 は会員のみの略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつばの会)

または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止のため、変更、中止になることがあります。
「かつばブログ」等で最新の情報の入手をお願いします。

かつば総会3/13(土)13:00～15:00

中央公民館第2集会室（東村山駅東口徒歩2分）

定例川そうじ木

3月以降の毎月第2土曜 9～11時

3/13(土)4/10(土) 集合：北山小正門前

北山小土曜講座 野鳥観察会木

3/14(日)10～12時八国山と北山公園、雨天延期（3/20）

カゴアミの設置や日光浴ワナの設置と点検 木 (ワナの設置、点検)

4/10(土) 13:00~14:00頃、以後第2

土曜の同時刻に実施。(小雨決行)

北山公園しょうちゃん池集合

以上その他、不定期の点検作業あり

(ブログ参照)

北川いきものクラブ 木 (魚とりなど)

4/10 (土) 13:00~15:00頃

北山公園親水広場付近で北川で↑

ご寄付に深謝

会員の和田安希代さん

ありがとうございました。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の

生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園

いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

捕れた魚を展示するとともに、魚とりを楽しめます(雨天順延)。

かっぱ定例会

4/3(土) 17:00~18:30頃 (中央公民館第5集会室)、6月頃までの活動について検討します。

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

毎月第1日曜 9:00~
第3土曜、第3水曜 13:30~
畠にて維持管理作業と収穫と落葉かき

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間3000円

支援会員:2年間で2000円
学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振入先

[郵便振替 00120-6-104476]
[りそな銀行東村山支店

(普)3605694]

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 春近し、梅の花がきれいです。春の花を巡って自由に歩きたい今日この頃、計画が普通に考えられるようになるのを望んでいます。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会

連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp

